第２回会津若松市総合計画審議会　議事録

日　時　　令和８年１月 28 日（水）　午後２時 00 分～午後３時 35 分
会　場　　会津若松市役所生涯学習総合センター１階　多目的ホール
出席者　　会津若松市総合計画審議会委員 16 名（16 名のうち４名欠席）
　　事務局（企画政策部副部長、企画政策部副部長兼企画調整課長、企画調整課員３名）
　　総合計画策定支援業務受託事業者（株式会社 NTT データ経営研究所３名）
内　容　　下記のとおり

1.　開会
2.　会長あいさつ

発言者	内容
司会（企画調整課長）	会長よりごあいさつを申し上げます。
会長	今朝福島から参りまして豪雪を覚悟しておりましたが、昨年度と比べると雪は落ち着いており良かったです。本日は第２回総合計画審議会ということで、これまで実施された各種ワークショップのご報告があるということで非常に楽しみにしてまいりました。 今皆様のお手元に人口減少に関する専門家である天野先生による講演会のチラシがありますが、昨日 NHK のテレビ番組に出演されておりました。若者と人口減少について話し合うという内容で、若者が人口減少について試行錯誤しながら真剣に向き合っている姿を見て非常に感動しました。なぜ人口減少を止めなければいけないのかという根源的な問いを自ら考え、みんなで議論していくことが重要であると思いました。 会津若松においても、なぜ会津を守る必要があるのか、どのような地域にしていきたいのか本時間の中で皆さんと考えていきたいと思います。 限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を伺えればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
司会（企画調整課長）	ありがとうございました。

3. 議事

(1)次期総合計画の策定に向けた各種ワークショップ等の検討状況の報告

(2)その他

発言者	質疑内容等
●事務局	本日の出席者数について報告いたします。 事務局の他に NTT データ経営研究所から３名参加いただいております。 委員 16 名中 12 名が出席されておりますので、総合計画審議会条例第６条第２項の規定に基づき、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。 それでは会長より議事を進めていただきます。よろしくお願いいたします。
○会長	円滑な議事進行に努めてまいります。 議事(1)次期総合計画の策定に向けた各種ワークショップ等の検討状況の報告について事務局の方からご説明を求めたいと思います。 まずは「新たな総合計画策定市民会議」に関する説明をお願いします。
●事務局	（資料に基づき内容を説明）
○会長	ありがとうございました。委員の皆様から意見を頂戴したいと思います。「新たな総合計画策定市民会議」に参加いただいている委員がここに４名いると伺っておりますが、只今の発言に補足がございましたら、ご発言をお願いいたします。
○委員	総合計画について１回目から順を追い、全７回にわたって参加してまいりました。議論した中のいくつかの問題点は若者の視点も必要になるため、若者会議と絡めて考えをすり合わせる必要があると思っております。 人口減少は問題であると言われますが、行政が対応できる耐性を持ち合わせていないことが問題だと思っております。 様々な気づきをいただけたことに感謝しております。
○委員	今回 10 年先の総合計画を策定するにあたり、前回の総合計画策定

	時に、会津若松市の市長がコメントしている新聞記事を改めて拝見しました。そこには「会津若松市は消滅可能性都市であるが、それでもしぶとく生き残っていかなくてはならない」と記載がありました。 10 年の計画を作ったにも関わらず、10 年経った今目立って変化したものはないことから、会津若松はいい方向に向かっていないと感じております。 今回 10 年先の計画を作るうえで、計画を作って良かったと思えるまちにしていきたいと思っております。
○委員	市民会議に参加いただいた方々から、会津に対して熱い思いを語っていただきました。皆さまの想いが総合計画として形になっていくことが楽しみであるというのが感想になります。
○委員	市民の方は我々が思っている以上に市政に関心を抱いていると感じました。第７回で考案したスローガンも素晴らしいものだと思いました。 これからの時代、人との繋がりが重要になってくるので、これまでの会議の内容を今後の将来構想に活かしていただきたいと思います。
○会長	ありがとうございました。 その他委員の方より、ご意見ご感想あれば伺えればと思いますが、いかがでしょうか。
○宮澤委員	人口減少について、ある程度の人口減少は問題ないですが、一定を超えると社会生活が成り立たなくなると思っております。若者たちが故郷を大事にするという視点に立ち、戻ってきたいと思える街にする必要があると思います。 そのうえで教育と環境が重要であると考えております。昔は地域における人と人とのつながりが強固でありましたが、欧米の個人主義が持ち込まれたことにより、つながりが希薄になっていると感じております。地域でのつながりは子育ての時に助け合える等悪いことばかりではないと思っております。自分自身が老人になった際に助けてくれる地域にしていくことが大事であると思いました。そのためには教育の面から見直し、故郷を愛し、人々を愛する地域にし

	ていくことが大事だと思います。 　また資料内の目指すべき将来像に農業が含まれておりますが、農業はこれからの時代、本当に大事になっていくと思っております。農業の担い手不足から食料危機が目前に迫っております。第一次産業の担い手が不足していることは、日本の全国的な問題です。 　会津では美味しい作物が取れるので、農業を今後促進し、儲かる産業であることを若者に伝えることが必要だと思います。収入と休みが十分で、のびのび暮らすことができるというメリットを打ち出していくことが大事だと思います。会津若松のみならず、会津地域全体の問題であると感じるため、広域に連携し、会津地域のリーダーとして、引っ張っていただきたいと思いました。
○会長	ありがとうございました。 　教育と食の持続性、また地域連携についてご意見いただきました。 　その他意見がある方いらっしゃいますか。
○委員	防災に関わらせていただいておりますが、今回の資料について気づいた点がございます。11 ページの地域幸福度指標において自然災害が偏差値 40 台ということで、客観指標として非常に低い数値だと思っておりますが、12 ページを拝見すると、生活環境基盤の中で会津若松は「強固な地盤」と記載があり、これは違うのではないかと思いました。提起された問題故に、計画が策定されるわけではないと思っておりますが、17 ページの街の将来像に「子ども時代から防災教育が浸透するまち」と記載がありますが、災害が起こった際に、行政に頼る以外に何もできない住民だと今後困ると思うので、子どものころから防災教育をしっかり行っていきたいと思いました。
○会長	ありがとうございました。 　先ほどお話にあった地域におけるつながりの話と通じるものがあると思っております。自助、共助の精神が大事になると思うので、教育においてその精神を培っていく必要があると思いました。 　時間も限られておりますので、続いて「若者会議」に関する説明をお願いします。

●事務局	（資料に基づき内容を説明）
○会長	ありがとうございました。「若者会議」に関して、今後次期総合計画の基本構想の検討を進めるうえで重点的に取り組むべき内容等についてご意見あれば、伺いたいと思いますがいかがでしょうか。
○委員	手元にある資料の 16 ページをご確認ください。子どもの居場所が不足していると記載がございます。また 18 ページにも同様に子どもが気軽に集まることのできる施設が少ないと記載があり、38 ページにおいても本市の結婚する際の問題点に、世代別の遊び場が少ないと意見があります。若者会議と市民会議で共有した問題が出ており、これは市全体における課題だと思います。 18 ページで地域コミュニティについて整備されているものの、周知がされていないと意見がございました。地域コミュニティは地縁型とテーマ型に分けられると思っております。会津は地縁型に属していると思いますが、今後は地縁型、テーマ型のハイブリッドの型にしていく必要があると思いました。
○会長	ありがとうございます。その他ご意見いかがでしょうか。
○委員	高校生だった際に、会津若松駅前にサティがありましたが、それがなくなってしまったことがとても悲しかったです。就職で東京にわたり、子育てで会津に戻ってきましたが、幼いころの思い出の場所がなくなっていることに寂しさを感じました。どのような世代でも「会津のこの場所はいいね」と思える場所が今後増えていってほしいと思っております。
○会長	ありがとうございます。皆さまの思い出の場所が増えるといいですよね。 また意見の中で、ハイブリッド型についてお話がありましたが、総務省のもとで地域運営組織を作っていく方針が出ております。そこではテーマ型の組織が町内会や自治会にも良い影響を与えるという指摘があります。ハイブリッド型に関する取組み、仕組みづくりの検討が今後必要になると思います。 続いて「子育て世代ワークショップ」に関する説明をお願いします。

●事務局	（資料に基づき内容を説明）
○会長	ただいまは「子育て世代ワークショップ」についてご説明いただきました。本審議会には、父母と教師の会連合会からも委員にご参加いただいておりますが、同じ子育て世代という視点から、先ほど説明がありました「子育て世代ワークショップ」からの提案の中で、今後、次期総合計画の「基本構想」の検討を進めるうえで、重点的に取り組むべきものなどについて、ご意見等があれば伺います。いかがでしょうか。
○委員	他の活動でも、会議の回数を重ねるごとに参加人数が減っているという点が共通していると感じました。その原因として、参加する市民の方から、意見を出しても意味がない、と思われてしまっている可能性があるのではないかと思います。本総合計画審議会においては、素晴らしい計画を策定していただいた上で、何を実施し、どう行動したか、ということを意識して、最後まで続けていただきたいと思います。
○副会長	様々なご意見をお伺いしましたが、全て解決することは非常に困難でございます。会津若松市は現在、消滅可能性都市に指定されています。消滅可能性都市とは、現在の人口減少がこのまま続く場合、2030年には市の人口は10万人を切り、2050年には７万６千人になるとされています。そうなると、街の機能を支えることもできなくなり、税収も減少し、市内のインフラも回らなくなります。 また、日本全国の人口がすぐに増加することはない中、首都圏において全体の１/３が住んでいる状況で、会津若松市から転出した人々の移住を促進することを目指すことは良いと思いますが、他の都市にいる人々を取り合うことは適切な取組みとは言えません。会津若松市の人口が減少する中で、サステナブルな取組みはなにか、という前提の下、東京のような都市機能を求めるのは難しいということを理解する必要があります。会津若松市にかつてあったデパートやスーパーなどは撤退してしまいましたが、これは商業的に採算が合わないためです。まずは人口が減ることを前提とした上で、若者へ誇れるようなまちづくりを継続していくことが求められています。根底として、そういうことを考えるべきだと思います。

○会長	ありがとうございました。 そのほかの委員の方で、「子育て世代ワークショップ」からの提案の中で、今後、次期総合計画の「基本構想」の検討を進めるうえで、重点的に取り組むべきものなどについて、ご意見等があれば伺います。いかがでしょうか。
○委員	ひとつ前の若者会議に関係するお話にはなりますが、資料の 40 ページにて、「医療機関の混雑によって待ち時間が長い」という意見が挙がっておりました。こちらには子育てをする身として非常に共感しました。福島市の医療機関では、ネット予約により、順番が近づいてから病院へ訪れることができ、待ち時間が短く済むシステムとなっています。会津若松市の一部の病院では待ち時間が非常に長く、長時間病院に滞在するので、感染の危険性も感じるような場面もありました。 会津若松市には様々な年代の方がいらっしゃるので、全ての方がインターネットの手続きに対応することは難しいということもあるかと思います。会津コイン等のキャッシュレス決済について、会計の際にご高齢の方が困惑している様子が見られ、よく案内をしています。若い世代が簡単にできるような操作がご高齢の方には難しいこともあると思っています。ＡＩ等の最新技術を活用すると同時に、操作が難しい方については窓口で個別にご案内をするといった柔軟な対応が求められると思います。
○会長	子育て支援について、もっと効率的に若い人が利用しやすい取組みをすることが大事だと思います。その一方で、日本全国が人口減少という同じ問題に直面している中で、人口減少適応策として、人口減少を前提としながらも会津若松市の市民が幸せに生きていけることを目指すべきだと感じます。誇りあるまちづくりという言葉がありましたが、格式あるまちづくりや、賑やかな過疎づくり、人材が増えていくことを目指すなど、人口減少一辺倒ではない、新たなまちづくりを進めていく必要があるのではないかと思いました。 それでは引き続き、「地区別ワークショップ」について、事務局の説明をお願いいたします。
●事務局	（資料に基づき内容を説明）

○会長	ただいまは「地区別ワークショップ」についてご説明いただきました。門田地区でのワークショップには、１名の委員が参加されたと伺っておりますが、ただいまの説明に補足等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
○委員	回覧板でワークショップの案内があったので、ＱＲコードで申し込みをしましたが、当日の参加者は４人しかいないという状況でした。神指地区は区長会と同日開催だったことから、参加人数が 15 人と多かったようですが、回覧板での参加募集のみでは、なかなか参加する人が少ないと感じました。地区別ワークショップでは、地域カルテで門田町の地域の状況が把握できたため、市の皆様も把握いただいたほうが良いと感じました。
○会長	また、本審議会には、会津若松市区長会から１名の委員にご参加いただいておりますが、地域コミュニティという視点から、先ほど説明がありました「地区別ワークショップ」での意見の中で、今後、次期総合計画の「基本構想」の検討を進めるうえで、重点的に取り組むべきものなどについて、ご意見等があれば伺います。いかがでしょうか。
○委員	市内には各地域運営組織があり、湊地区や大戸地区等、数々の地域づくりの委員会ができ上がっています。しかし、実態としては、話し合いに終始してしまっているという状況です。湊地区の組織は法人化していますので、学校給食の食材の提供なども実現していますが、後継者がなかなかついてこないという問題はどの活動にも共通しています。現状、限られた人数で活動しておりますので、参加する年代を広げるため、若者が参加しやすい時間帯に活動するなどの工夫が必要ですが、ご高齢の方々は夜の時間帯の活動を嫌がるなどの問題もあります。 かつてあった各種団体、敬老会、婦人会、こども会なども多くが閉鎖しているような状況です。小学校の生徒の人数も減ってきている中、若者がいても環境に馴染めず、市内のアパートを借りて、周りとの付き合いを避けたいという人たちもいます。 一番は後継者問題が最も深刻でありまして、役員のなり手がいない結果、町内会として成立しないといった地区もあります。そのよ

	うな時代になってきている中で、会津若松市では町内会加入率を90％以上に保っておりますが、ここ数年で２％程度下がっており、油断するとすぐに80％を切る可能性もあると思います。全国の加入率である50～60％程度に比べればまだ高い加入率ですが、自治体と市のつながりがなくなれば、何かあったときのための防災や日頃からの減災の対策ができなくなります。解決したいと考えていますが、非常に悩ましい現状があります。
○会長	ありがとうございます。現場の方の貴重なお話をお聞きできたと思います。町内会の加入率がこれほど高い中で、若い人との繋がりをどうつくっていくのか、というところを考えていきたいと思います。 その他ご意見いかがでしょうか。
○委員	会議などの話し合いも大事ですが、まずは行動することが必要です。人口が減少している中で、これからの会津若松市を想像しますと、体育館やタワーマンション、市庁舎、空き家などが老朽化し、さびれた街になっていくと思います。それらを食い止めるためには、まずは行動を起こさないといけないと感じます。 かつては若者みんなでまちづくり提案を行い、当時の地区などと協力してマニュアルを作りました。今の人たちを見ると、そのパワーがないようです。会津若松市は他の市と違って、まちづくりのテーマがあります。城下町特有の習わしや、しきたりを踏まえた、まちづくりと生活の下地づくりについて、考え直さないといけません。 市民の暮らしが良くなれば、観光客からも「会津は会津らしくていいところだ」と思われるようになります。今回の会議をきっかけに、商工会議所さんを中心として、進めていただきたいと思います。
○会長	頂いたお話も含めて将来の街の姿を検討させていただければと思います。その他ご意見いかがでしょうか。
○委員	会津らしいまちづくりをするために、小学校からの「あいづっこ宣言」にもあるように、助け合う、目上を敬う、弱いものを助けるといった道徳を子どもたちに教えていくといった地道な努力が大切

	です。 　さきほど東京からの移住についてお話がでましたが、東京ではなく、会津なら子どもをもちたい、と思える人が増えればいいと思います。そのためには、子育てしやすい、生活しやすい環境を整えることが重要であり、その中でも、個人病院と総合病院間などの地域連携が図られると良いと思います。地域間の連携も地方の生き残りには必要だと思います。
○会長	ありがとうございます。子育て世代の方が子育てしやすい街として選んでくれるまちになると良いと思います。 　その他ご意見いかがでしょうか。
○委員	医療に関して、構造的に病院は現在破綻ギリギリの状況であるため、今後状況の改善を図ることは非常に厳しいと思われます。 　若者とのつながりについてお話がありましたが、若い人にお伝えしたいことは、将来 30 年後のことを想像したときに、若い世代に「自分たちが頑張ってやってきた」と胸を張って言えるのかということです。そしてその時、世代間で助け合うことができるのか、ひいては、多世代間で「お互い様」という感覚が持てるかというところが、これからのまちづくりの原点だと思っています。
○会長	ありがとうございます。その他ご意見いかがでしょうか。
○委員	資料 15 ページには、「待機児童はほぼゼロ」が良いこととして載っていますが、確かに関係者の方の苦労の上で実現することではありながら、人口減少が進む中、あたり前のことだとも考えられることかと思います。今後は、若者が求める子育てしやすいまちの新しい特徴を作れたらいいなと思います。
○会長	ありがとうございます。若者から選ばれるためにも突き抜けた取組みをする必要があると思いました。 　事務局からは何かございますか。
●事務局	次回の第３回審議会は、３月 24 日（火）に開催いたします。 　また、２月 15 日（日）にはタウンミーティングを実施いたしますので、是非ご参加ください。

4. 閉会